

# 議題2 刈谷市水道事業経営戦略の進捗状況等について

令和5年(2023年)1月13日



将来にわたり健全な水道事業運営を持続するために

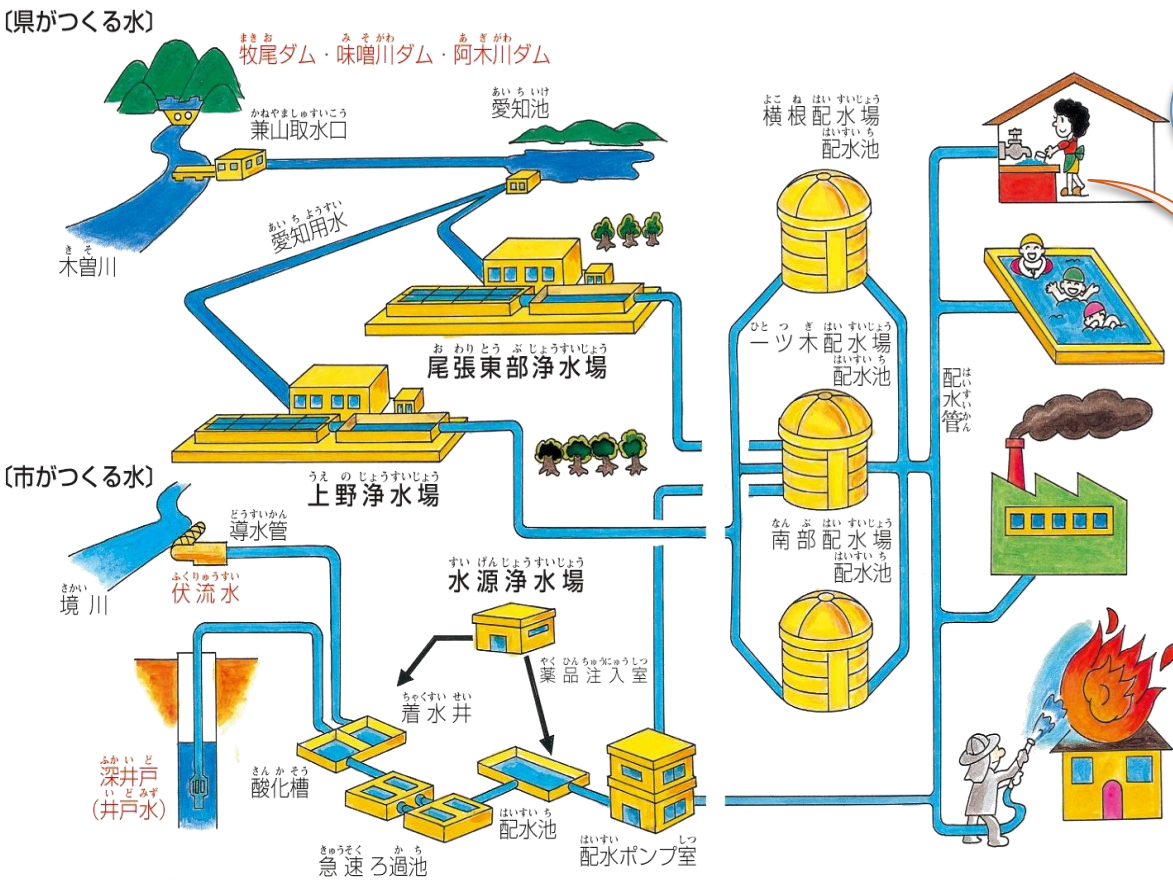


表 満足度平均ポイント 上位項目

順位	項目	平均ポイント
1位	水道水の安定供給	3.87
2位	公共下水道の整備	3.72
3位	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.52
4位	健康づくり活動や医療体制の充実	3.50
5位	ごみの減量化・再資源化の推進	3.43

表 重要度平均ポイント 上位項目

順位	項目	平均ポイント
1位	水道水の安定供給	4.13
2位	健康づくり活動や医療体制の充実	4.05
3位	公共下水道の整備	4.00
4位	子育てしやすい環境の整備	3.98
5位	防災・災害対策の推進 防犯・交通安全対策の推進	3.94

## 1 今後検討予定の取組（実績）

経営戦略に記載した、今後検討予定の取組の中で現在までに次の取組を実施しています。

### （1）投資の合理化、費用の見直しについての検討状況等

#### 情報通信技術・新技術

ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)を活用することにより、検針業務や漏水調査等、現場作業の効率化について、調査研究します。



- ・ 各種業務にAI-OCR、RPAを活用することで、年間の事務作業時間を約300時間削減。
- ・ 検針困難箇所などにスマートメーターを試験導入（令和5年3月予定）。

#### その他の取組

経営のさらなる効率化のため、継続的に県水受水費の削減（承認基本給水量の見直し）に努めます。



承認基本給水量（県との給水契約水量）の見直しを定期的に行い、受水費を削減しています。

年 度	承認基本給水量(m <sup>3</sup> /日)	受水費削減額(円/年)
平成14(2002)	48,000	—
平成15(2003)	46,900	17,740,800
平成20(2008)	46,200	11,289,600
平成30(2018)	46,000	3,317,760
令和2(2020)	45,700	5,068,800
令和3(2021)	45,500	3,379,200

## 1 今後検討予定の取組（実績）

経営戦略に記載した、今後検討予定の取組の中で現在までに次の取組を実施しています。

### （2）財源についての検討状況等

資産の有効活用等による  
収入増加の取組

**マイクロ水力発電設備**や施設のネーミングライツについて、調査研究します。  
大口定期預金以外の効果的な資金運用方法について、調査研究します。  
有休用地などの資産を有効活用する方策を調査研究します。



マイクロ水力発電設備の導入により、年額約48万円の収入を確保。

## 1 今後検討予定の取組（実績）

経営戦略に記載した、今後検討予定の取組の中で現在までに次の取組を実施しています。

### （3）お客様サービス向上等についての検討状況等

#### その他の取組

基本料金の日割計算、**口座振替の電子申込化**、キャッシュレス決済等、**新たなお客様サービスの導入**について調査研究します。

**行政手続(申請等)のオンライン化**について、調査研究します。

SDGs（持続可能な開発目標）の考え方を踏まえ、各種施策を推進してまいります。



#### （1）口座振替登録の電子申込化（口座振替登録の推進）

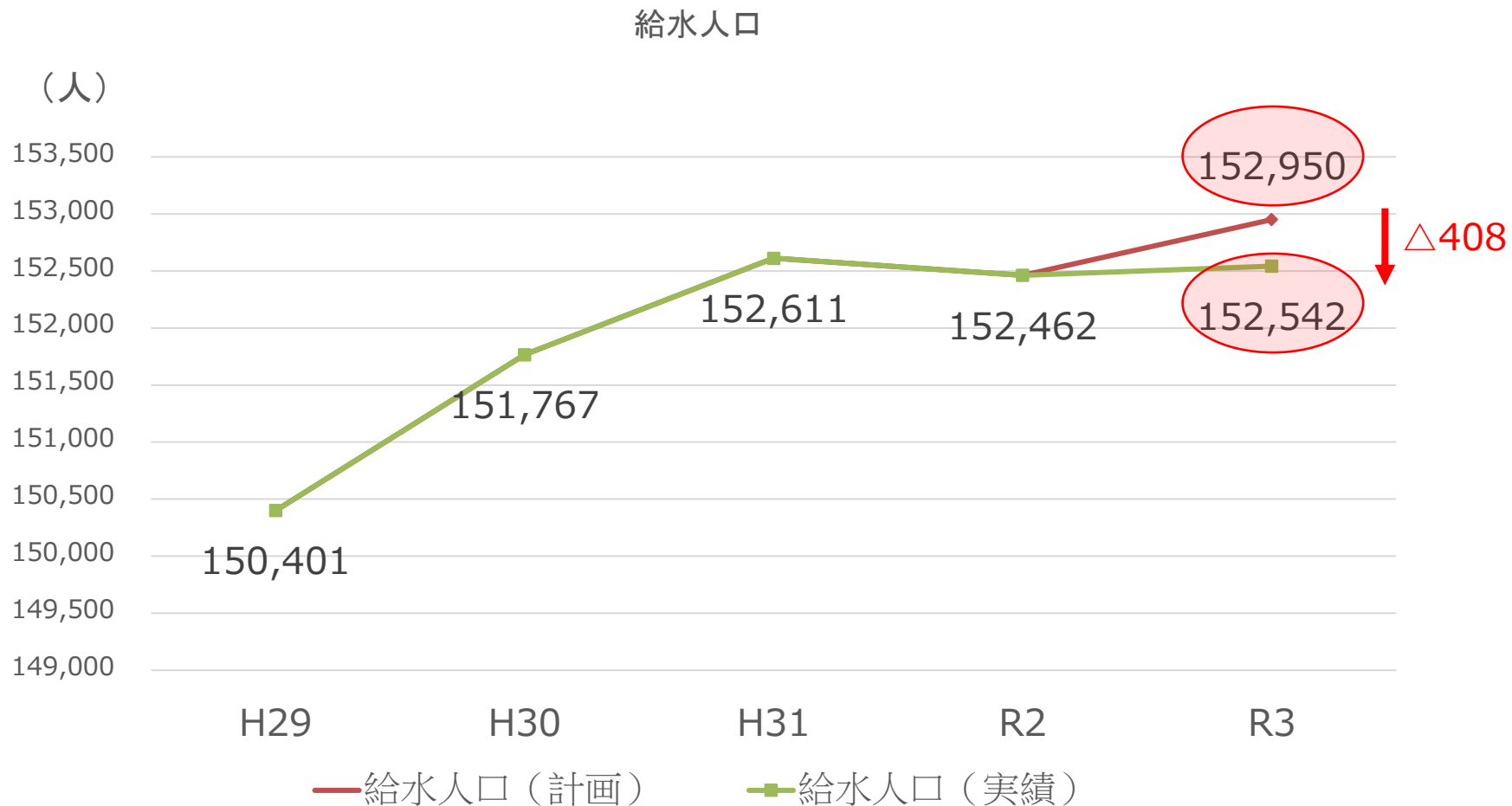
一部銀行で口座振替の電子申請化（24時間受付）により、行政手続のオンライン化、キャッシュレス化、ペーパーレス化、印鑑レス化、口座情報入力システムのシステム化を図り、**市民の利便性向上とともに経費（年額約85万円）及び事務の削減（年110時間）**をしています。

#### （2）中部電力ミライズ「引越しおまとめ便」との連携（電子申請による開閉栓受付）

中部電力ミライズの電気やガスの契約と同時に、水道、NHK、新聞、光インターネットサービスなどの**引越手続を24時間いつでも一括でおこなうことができるサービスを導入し、市民の利便性向上及び事務の効率化を図っています。**

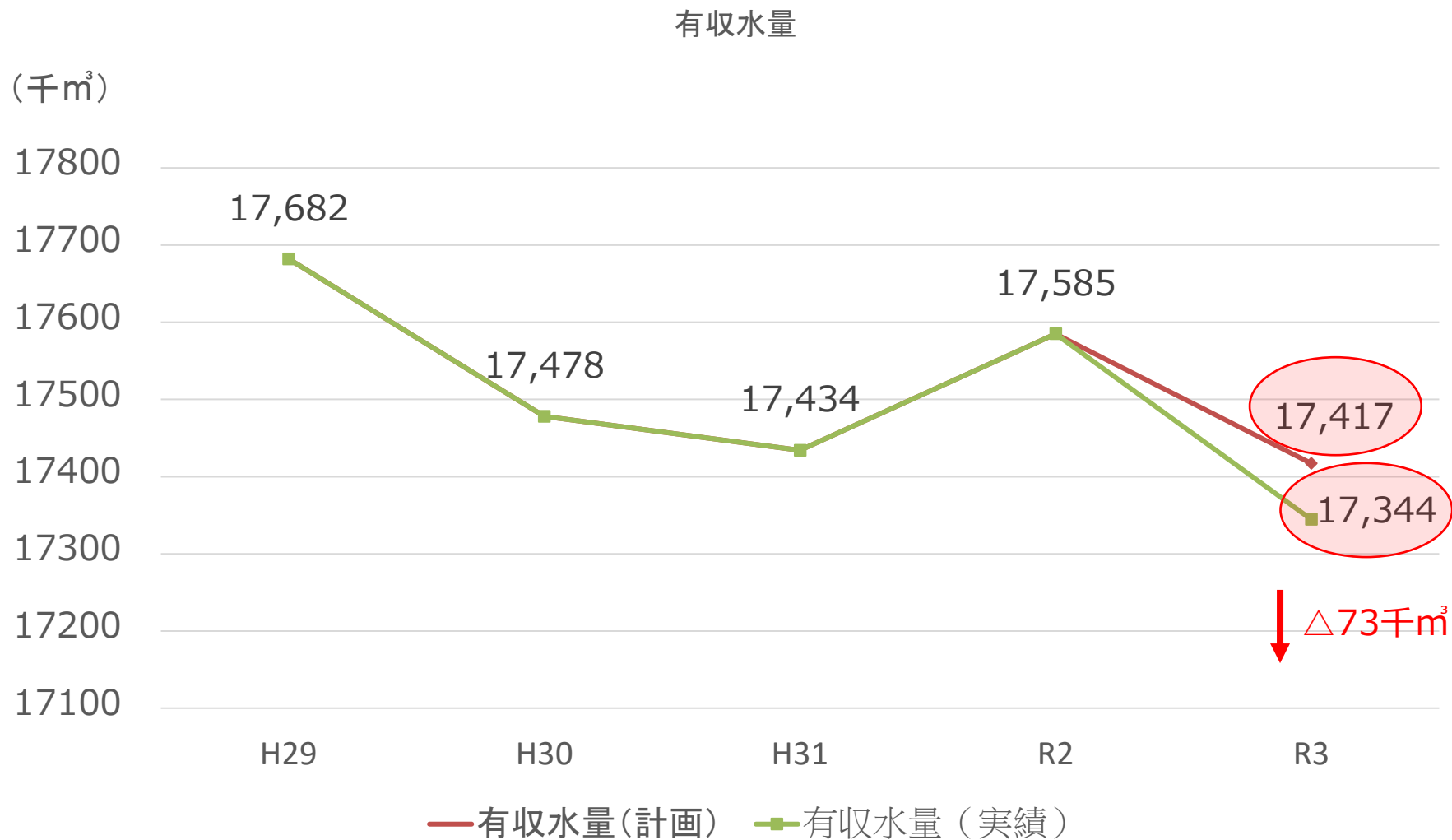
## 2 計画推計値と決算値の比較

### (1) 給水人口



## 2 計画推計値と決算値の比較

## (2) 有収水量

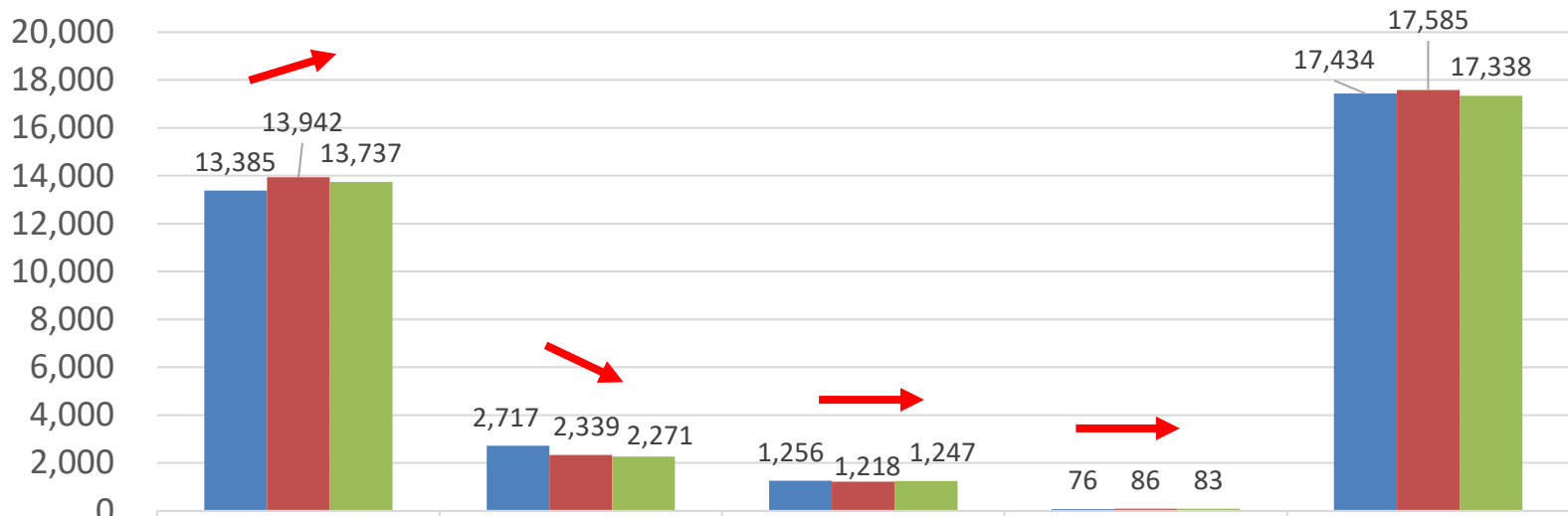


## 2 計画推計値と決算値の比較

### (3) コロナ禍における有収水量の分析(用途別)

(千m<sup>3</sup>)

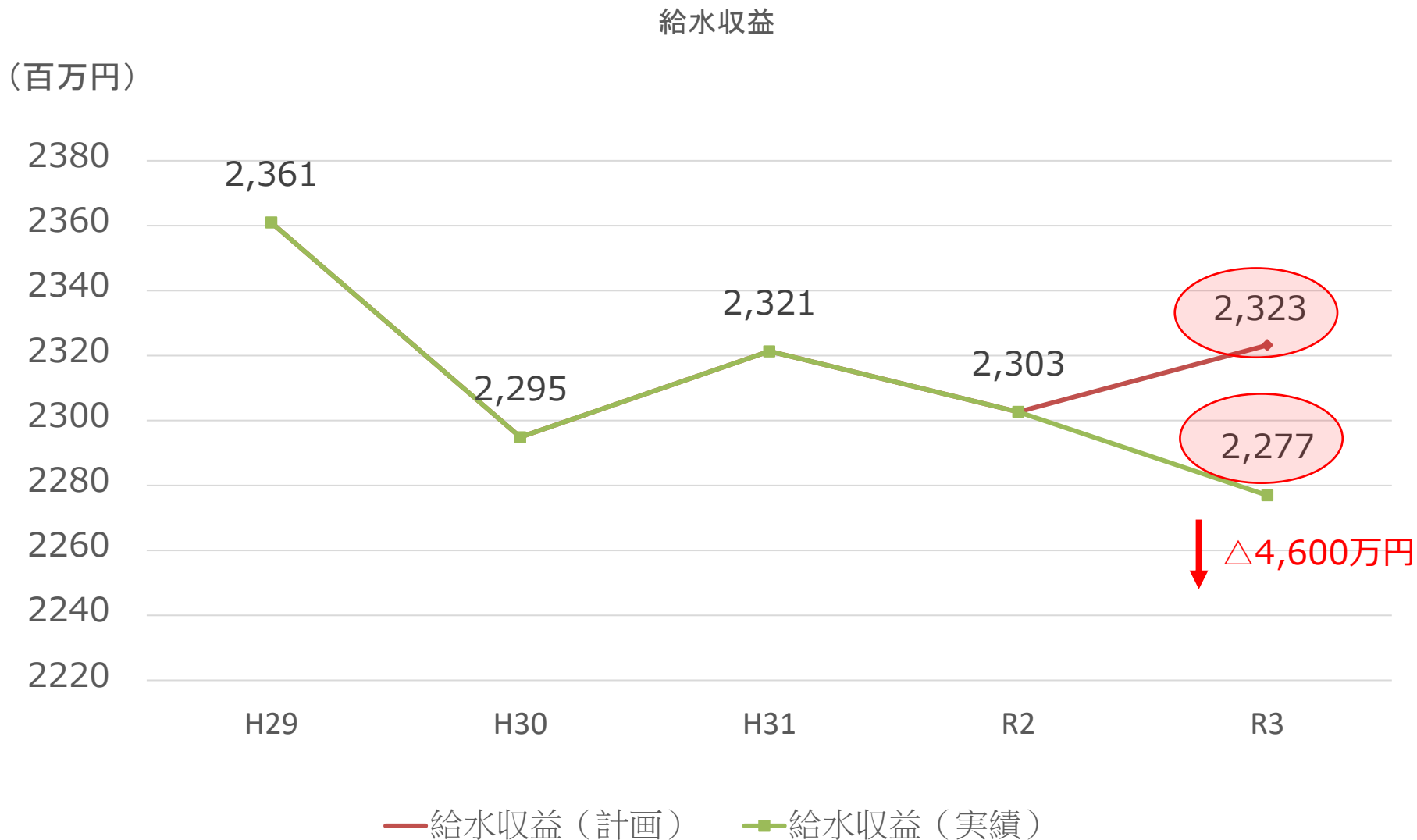
用途別有収水量



■ コロナ前 2019 (R1)	13,385	2,717	1,256	76	17,434
■ コロナ後 2020 (R2)	13,942	2,339	1,218	86	17,585
■ コロナ後 2021 (R3)	13,737	2,271	1,247	83	17,338
コロナ前比較 (R1-R2)	557	(378)	(38)	10	151
コロナ前比較 (R1-R3)	352	(446)	(9)	7	(96)

## 2 計画推計値と決算値の比較

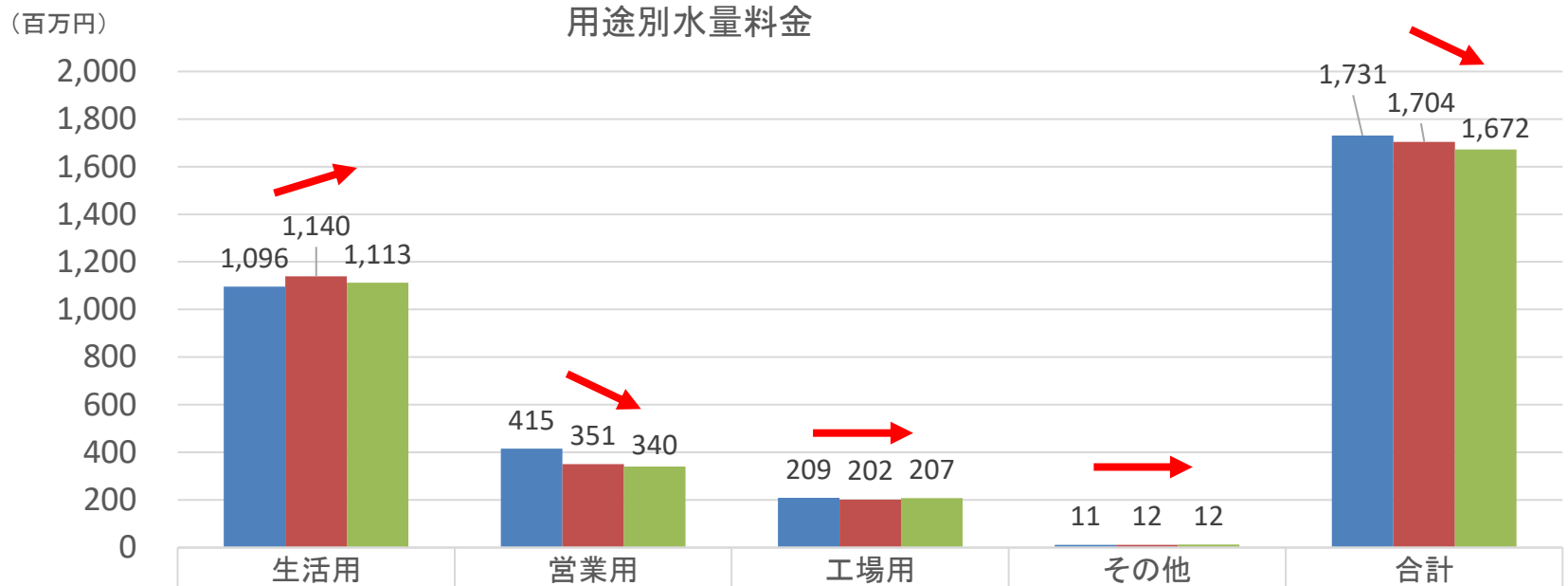
## (4) 給水収益(税抜)





## 2 計画推計値と決算値の比較

### (5) コロナ禍における給水収益の分析(用途別水量料金)



■ コロナ前 2019 (R1)	1,095,799,645	415,425,565	208,564,675	10,843,335	1,730,633,220
■ コロナ後 2020 (R2)	1,139,650,645	350,510,910	201,803,935	11,536,085	1,703,501,575
■ コロナ後 2021 (R3)	1,112,625,859	339,747,795	207,247,265	12,110,985	1,671,731,904
コロナ前比較 (R1-R2)	43,851,000	(64,914,655)	(6,760,740)	692,750	(27,131,645)
コロナ前比較 (R1-R3)	16,826,214	(75,677,770)	(1,317,410)	1,267,650	(58,901,316)

## 2 計画推計値と決算値の比較

### (5) コロナ禍における給水収益の分析(用途別水量料金)

#### 料金表: 1月につき(税抜き)

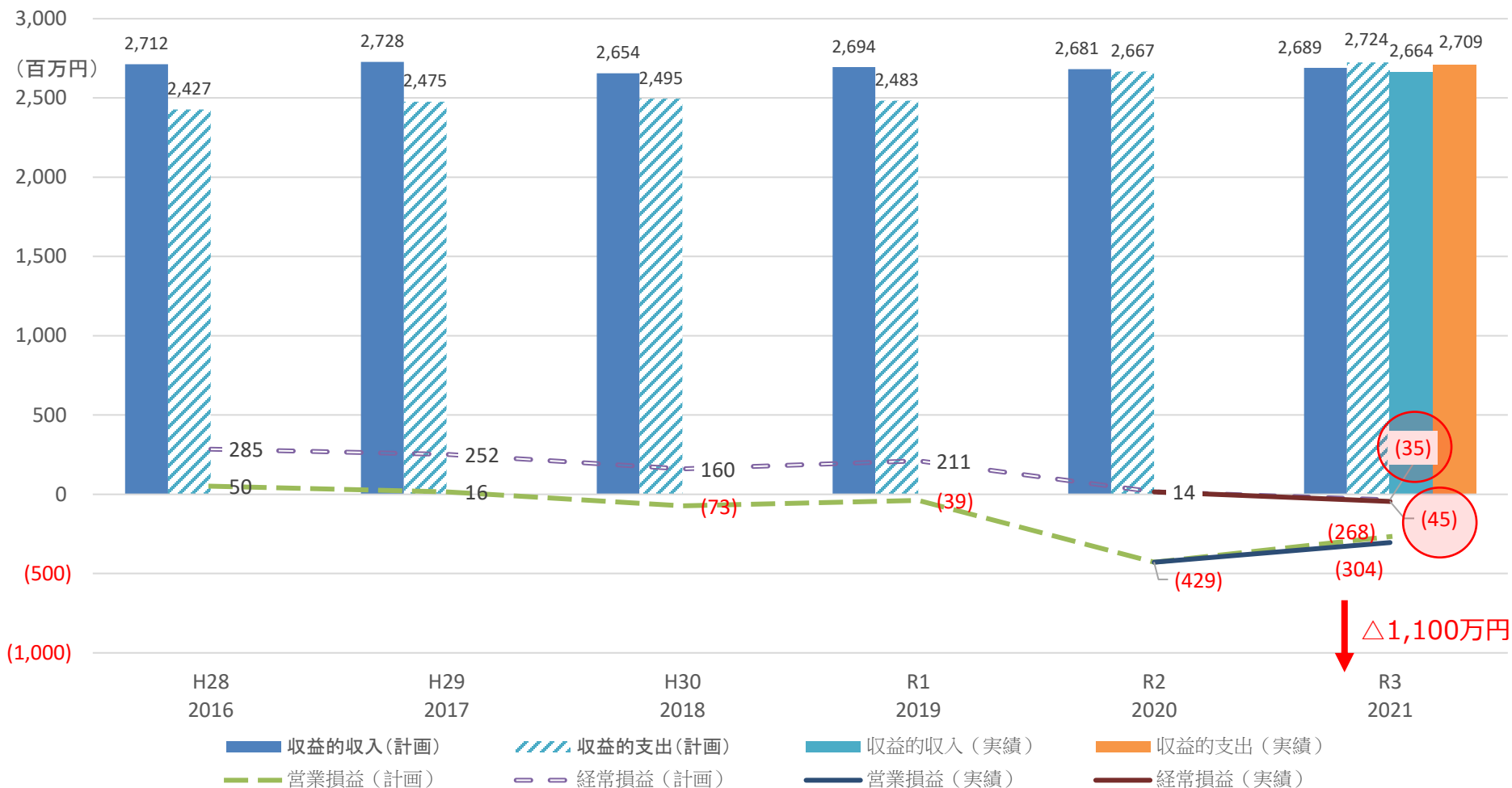
メ 口	タ 一 径	基本料金	水量料金(円/m <sup>3</sup> )				
			0~10m <sup>3</sup>	11~20m <sup>3</sup>	21~40m <sup>3</sup>	41~60m <sup>3</sup>	60m <sup>3</sup> ~
	13mm	490円					
	20mm	760円					
	25mm	1,650円					
	40mm	6,620円					
	50mm	10,200円	55円	80円	115円	←	155円 175円
	75mm	24,640円	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; display: inline-block;">                     使えば使うほど高くなる                 </div>				
	100mm	41,970円					
	125mm	65,690円					
	150mm	90,080円					

使用体系の変化により、ボリュームゾーンが移行している。

	コロナ前 R1(2019)	コロナ後 R2(2020)	コロナ後 R3(2021)
供給単価	133.15	130.95	131.33
コロナ前比較	—	-2.20	-1.82

## 2 計画推計値と決算値の比較

### (6) 収益的収支(黒字・赤字)



## 10 経営のあり方の検討

### 1 検討組織について

3 投資・財政計画で示したように、今後50年間の財政シミュレーションでは、管路や水道施設の更新や耐震化に要する費用が多額となることが見込まれ、「資金残高と当期純利益」のとおり将来の財源不足が浮き彫りとなりました。

計画期間中の当期純損益の合計は黒字を見込んでいますが、計画期間の最終年である令和13年度（2031年度）以降にマイナス（当期純損失）へ転じる見通しです。さらに次期計画期間中の令和21年度（2039年度）には補てん財源が枯渇（資金ショート）することが予想されます。

資金ショートを防ぎ更なる経営改善を図るためには、「今後検討予定の取組」に記載した各種方策を推進することが急務となります。

そこで、外部有識者等で構成する（仮称）刈谷市公営企業審議会（以下「審議会」という。）を設置して経営のあり方について検討を開始する予定です。